

次期バリアフリー基本構想等の 策定について

令和6年3月14日

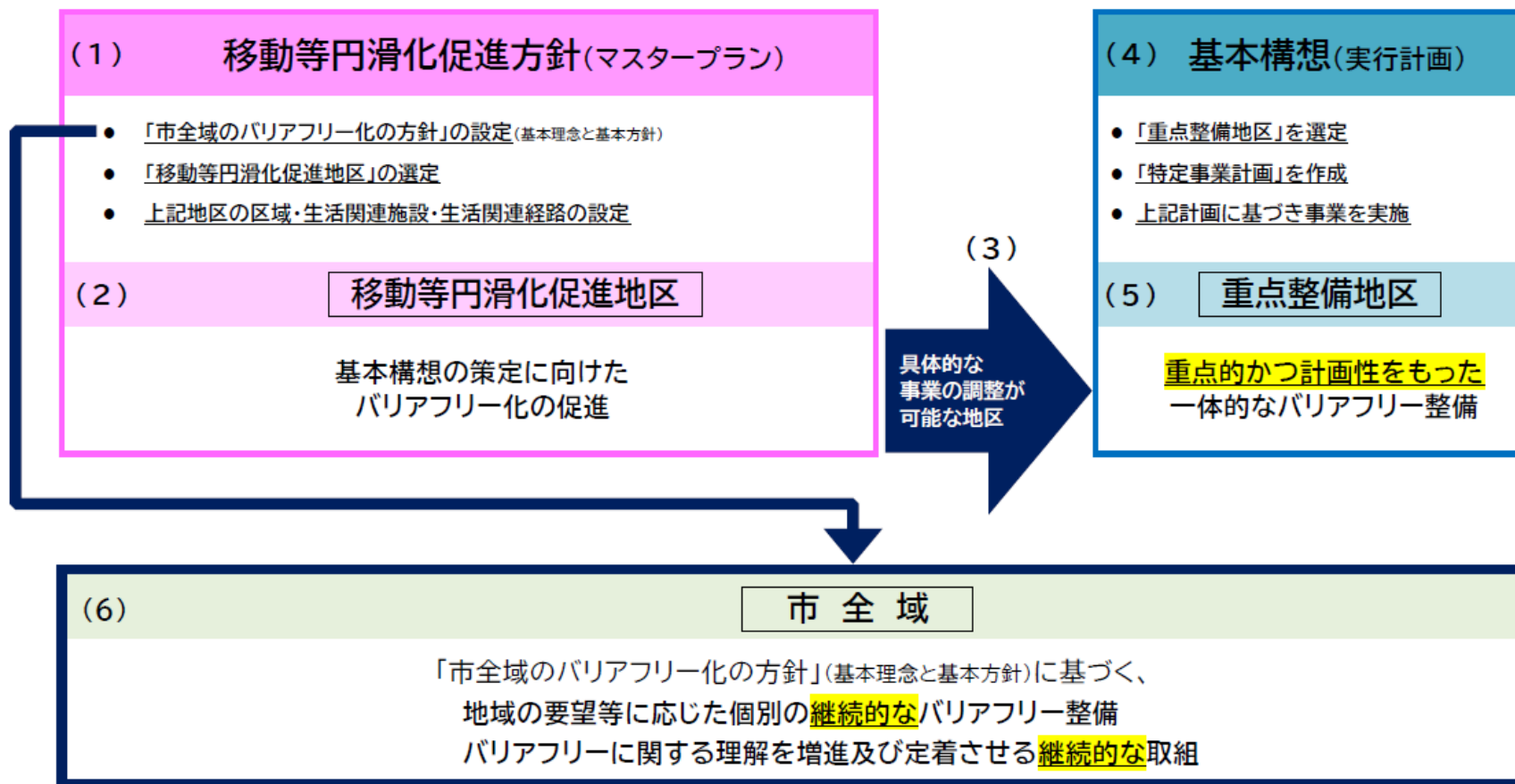
建設部 地域交通政策課

次期バリアフリー基本構想等の策定について

1 「次期バリアフリー基本構想等」の構成について

- 移動等円滑化促進方針の作成により、
 - ・バリアフリー化に関する取組について大体の方向を示します。
 - ・基本構想の作成に向けて、バリアフリー化を促進します。

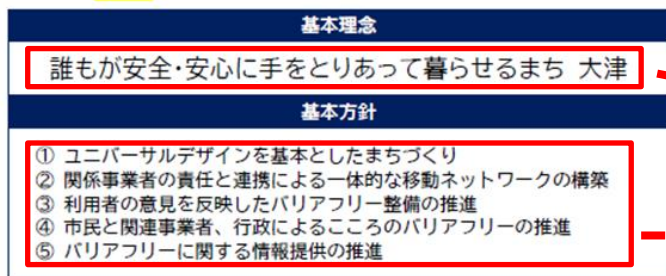
- 基本構想の作成により、
 - ・移動等円滑化促進方針に基づいた、具体的な取組内容を示します。
 - ・計画性をもったバリアフリー整備を行います。



次期バリアフリー基本構想等の策定について

2 「移動等円滑化促進方針(マスタープラン)」案について

現行の大津市バリアフリー基本構想(平成 23 年 3 月)



上位関連計画における基本理念等

大津市総合計画(2017年度-2028年度)

- 基本理念
 - ・持続可能な都市経営
 - ・共助社会の確立
 - ・自然、歴史、文化の保全、再生、活用

都市計画マスタープラン(2017年-2031年)

- まちづくりの理念
 - ・安全・安心・快適都市 持続可能でコンパクトな大津の構築
 - ・自然、歴史、文化を生かす 観光やにぎわい交流の創出
 - ・ともに創る協働のまち 定住環境の創造

おおつゴールドプラン2024【案】
(第9期大津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画)(2024年度-2026年度)

- 基本理念
 - 地域の中で いきいきと自分らしく 安心して暮らし続けられるまち おおつ

おおつ障害者プラン【案】
(大津市障害者計画・大津市障害者福祉計画(第7期計画)・大津市障害児福祉計画(第3期計画)(2024年度-2026年度)

- 基本理念
 - 一人ひとりが尊重され、だれもが心豊かに暮らせる共生のまち“大津”

次期大津市バリアフリー基本構想等



次期バリアフリー基本構想等の策定について

3 「移動等円滑化促進地区」の選定について

(1) 「移動等円滑化促進地区」の中心となる拠点の抽出について

地区の中心となる拠点は、市内全40駅のうち、以下の20駅となります。

表：地区の中心となる拠点

	駅名	評価1	評価2	備考	
		平均乗降客数 3,000人/日以上	上下移動を必要とする駅 ^{※1}		
JR	琵琶湖線	大津	○	○	現行の基本構想における重点整備地区の生活関連施設
		膳所	○	○	現行の基本構想における重点整備地区の生活関連施設
		石山	○	○	
		瀬田	○	○	
	湖西線	北小松		○	
		近江舞子		○	
		比良		○	
		志賀		○	
		蓬萊		○	
		和邇	○	○	
		小野	○	○	
		堅田	○	○	
		おごと温泉	○	○	
		比叡山坂本	○	○	
唐崎	○	○			
大津京	○	○			
京阪	石山坂本線	京阪大津京	○		
		びわ湖浜大津	○	○	現行の基本構想における重点整備地区の生活関連施設
		京阪膳所	○		現行の基本構想における重点整備地区の生活関連施設
		京阪石山	○	○	

※1 スロープ等により上下移動できる駅は除く。

評価指標及び配点については、以下のとおりです。

表：拠点の評価指標及び配点

評価指標(案)	評価指標の考え方・【資料】	評価基準及び配点(案)	
		評価基準	配点
(1) 駅平均乗降客数【人】	公共交通機関の利用が多いほど、高齢者・障害者等が利用する機会が多いと考えられる。 【1日当たり平均乗降客数(令和4年度)】	30,000人以上	10点
		20,000人以上 30,000人未満	9点
		15,000人以上 20,000人未満	8点
		10,000人以上 15,000人未満	7点
		5,000人以上 10,000人未満	6点
		3,000人以上 5,000人未満	5点
		2,000人以上 3,000人未満	4点
		1,000人以上 2,000人未満	3点
		500人以上 1,000人未満	2点
		500人未満	1点
(2) 生活関連施設候補数【箇所】	駅勢圏 ^{※1} 内に日常的に利用する施設が集積しているほど、高齢者・障害者等が多く利用する機会が多いと考えられる。	41箇所以上	10点
		36箇所以上 41箇所未満	9点
		31箇所以上 36箇所未満	8点
		26箇所以上 31箇所未満	7点
		21箇所以上 26箇所未満	6点
		16箇所以上 21箇所未満	5点
		11箇所以上 16箇所未満	4点
		7箇所以上 11箇所未満	3点
		4箇所以上 7箇所未満	2点
		4箇所未満	1点
(3) 上下移動のバリアフリー化【有・無】	上下移動のBF化が必要な駅はバリアフリー化の必要性が高い。 【高架駅でエレベーター未整備駅】	EV・スロープ等	無 20点 有 0点
(4) 駅勢圏後期高齢者人口【人】	鉄道駅から徒歩圏内の後期高齢者が多い地区は、バリアフリー化の必要性が高い。【令和2年度国勢調査】	基準値の+25%以上	3点
		基準値の+25%未満 (基準値 ^{※5} : 1,018人)	2点
		基準値の-25%以上	1点
(5) 駅勢圏要介護要支援 ^{※2} 人数【人】	鉄道駅から徒歩圏内の要介護・要支援人数が多い地区は、バリアフリー化の必要性が高い。【令和2年度介護保険事業状況報告】	基準値の+25%未満 (基準値 ^{※5} : 444人)	2点
		基準値の-25%以上	1点
		基準値の+25%以上	3点
(6) 駅周辺 ^{※3} 高齢化率【%】	鉄道を利用できる範囲の高齢化率の高い地区はバリアフリー化の必要性が高い。【令和5年4月住民基本台帳】	基準値の+25%未満 (基準値 ^{※5} : 26.6%)	2点
		基準値の-25%以上	1点
		基準値の+25%以上	3点
(7) 他線乗換駅【有・無】	他線へ乗換える駅は高齢者・障害者等が利用する機会が多いと考えられる。	他線への乗換可能性	有 2点 無 0点
(8) 路線バス運行本数 ^{※4} 【本】	公共交通機関の利用が多いほど、高齢者・障害者等が利用する機会が多いと考えられる。【各交通事業者の時刻表】	基準値の+25%以上	3点
		基準値の+25%未満 (基準値 ^{※5} : 76本)	2点
		基準値の-25%以上	1点
		0本	0点
(9) 停車列車種別【有・無】	快速が停車する駅は、普通のみ停車駅より駅の拠点性が高いと考えられる。【各交通事業者の時刻表】	快速以上が停車する	1点
		停車しない	0点

※1 駅勢圏は鉄道駅から800mの圏域とする

※2 要介護：日常生活全般において誰かの介護が必要な状態、要支援：日常生活を送る上で多少の支援が必要な状態

※3 駅周辺は駅勢圏に含まれる学区として高齢化率は含まれる学区の平均値

※4 バス運行本数は鉄道駅最寄りのバス停留所を対象とする

※5 基準値とは地区の中心となる拠点20駅の平均値

次期バリアフリー基本構想等の策定について

3 「移動等円滑化促進地区」の選定について

(2) 「移動等円滑化促進地区」の中心となる拠点の評価結果について

前述の評価基準に基づき、各拠点の評価を行った結果、以下のとおりとなりました。

このうち、**点数が20点を超える13駅(◎)**を中心とするエリアを移動等円滑化促進地区として位置づけます。

路線	駅名	(1) 駅平均乗降客数		(2) 生活関連施設候補数		(3) 上下移動のバリアフリー化		(4) 駅勢圏後期高齢者人口		(5) 駅勢圏要介護要支援人数		(6) 駅周辺高齢化率		(7) 他線乗換駅		(8) 路線バス運行本数		(9) 停車列車種別		計 点数	移動等円滑化促進地区
		評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数		
琵琶湖線	大津	32,150人	10	38箇所	9	有	0	1,655	3	761人	3	27.9%	2	ない	0	113本	3	停車する	1	31	◎
	膳所	23,052人	9	34箇所	8	有	0	2,146	3	950人	3	28.2%	2	ある	2	19本	1	停車しない	0	28	◎
	石山	39,880人	10	28箇所	7	有	0	1,113	2	553人	2	28.5%	2	ある	2	332本	3	停車する	1	29	◎
	瀬田	32,884人	10	21箇所	6	有	0	1,570	3	642人	3	19.3%	1	ない	0	206本	3	停車しない	0	26	◎
JR 湖西線	北小松	484人	1	6箇所	2	無	20	25	1	36人	1	36.5%	3	ない	0	0本	0	停車する	1	29	◎
	近江舞子	1,462人	3	4箇所	2	無	20	80	1	90人	1	36.5%	3	ない	0	0本	0	停車する	1	31	◎
	比良	2,868人	4	2箇所	1	有	0	22	1	50人	1	34.7%	3	ない	0	0本	0	停車しない	0	10	
	志賀	1,690人	3	8箇所	3	無	20	32	1	42人	1	33.1%	2	ない	0	10本	1	停車しない	0	31	◎
	蓬萊	1,744人	3	4箇所	2	無	20	35	1	33人	1	30.7%	2	ない	0	0本	0	停車しない	0	29	◎
	和邇	3,896人	5	14箇所	4	有	0	423	1	241人	1	29.3%	2	ない	0	3本	1	停車しない	0	14	
	小野	4,746人	5	10箇所	3	有	0	1,184	2	418人	2	35.3%	3	ない	0	81本	2	停車しない	0	17	
	堅田	14,286人	7	15箇所	4	有	0	939	2	324人	1	24.4%	2	ない	0	127本	3	停車する	1	20	
	おこと温泉	10,444人	7	12箇所	4	有	0	542	1	164人	1	27.8%	2	ない	0	75本	2	停車する	1	18	
	比叡山坂本	10,370人	7	15箇所	4	有	0	1,166	2	508人	2	27.9%	2	ない	0	87本	2	停車する	1	20	
	唐崎	6,746人	6	12箇所	4	有	0	1,342	3	563人	3	24.8%	2	ない	0	34本	1	停車しない	0	19	
	大津京	17,284人	8	23箇所	6	有	0	1,571	3	642人	3	27.6%	2	ある	2	11本	1	停車する	1	26	◎
	京阪 石山坂本線	京阪大津京	5,252人	6	25箇所	6	有	0	1,411	3	572人	3	27.6%	2	ある	2	11本	1	停車しない	0	23
びわ湖浜大津		4,576人	5	47箇所	10	有	0	1,826	3	776人	3	27.6%	2	ない	0	51本	1	停車しない	0	24	◎
京阪膳所		5,545人	6	37箇所	9	有	0	2,162	3	944人	3	28.2%	2	ある	2	19本	1	停車しない	0	26	◎
京阪石山		6,147人	6	28箇所	7	有	0	1,121	2	568人	3	27.8%	2	ある	2	332本	3	停車しない	0	25	◎

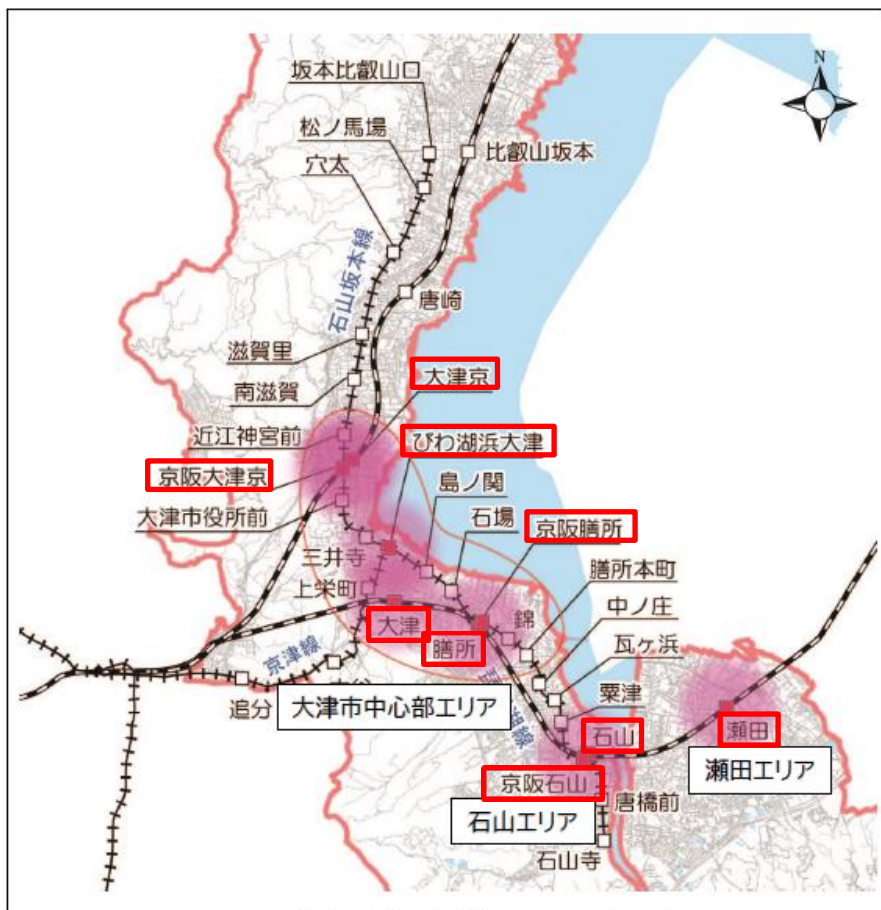
次期バリアフリー基本構想等の策定について

3 「移動等円滑化促進地区」の選定について

(3) 「移動等円滑化促進地区」案について

(1) 大津市中心部エリア、石山エリア、瀬田エリア

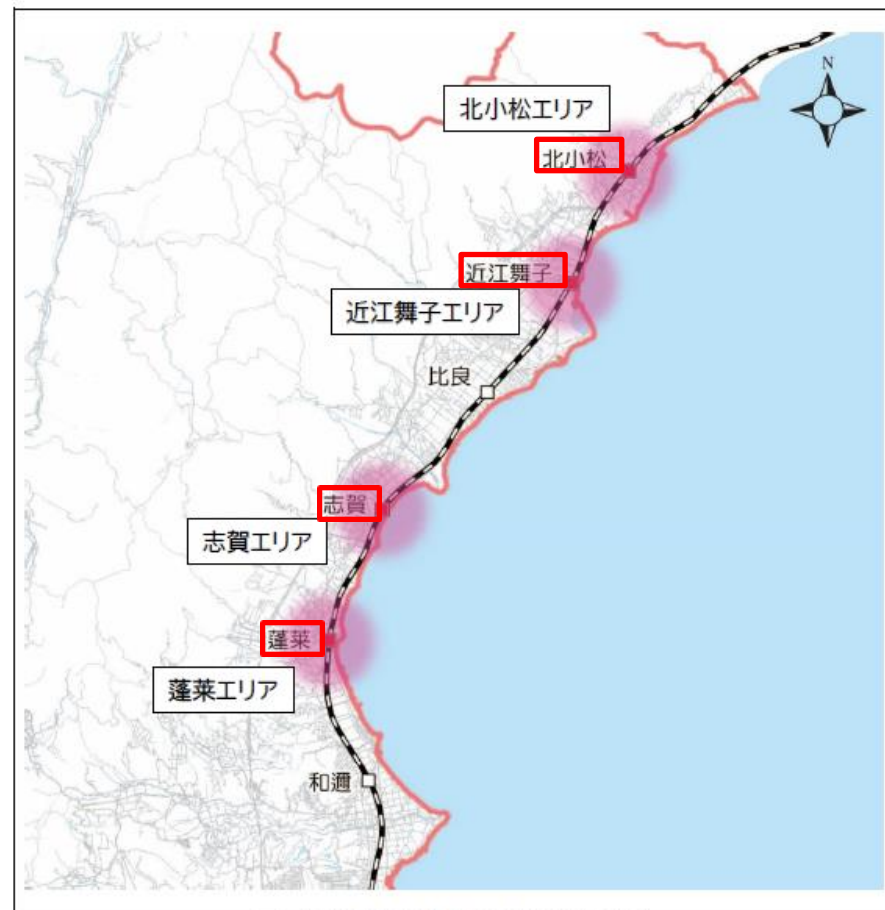
JR大津駅、京阪びわ湖浜大津駅、JR大津京駅、京阪大津京駅、JR膳所駅、京阪膳所駅を中心とするエリアは、互いに隣接しているため、移動等円滑化促進地区としては一体で位置づけます。



図：大津市中心部等の移動等円滑化促進地区(案)
【大津市中心部エリア、石山エリア、瀬田エリア】

(2) JR湖西線 北小松エリア、近江舞子エリア、志賀エリア、蓬萊エリア

JR湖西線の各駅については、駅間が広く、移動等円滑化促進地区としては独立して位置づけます。



図：JR湖西線の移動等円滑化促進地区(案)
【北小松エリア、近江舞子エリア、志賀エリア、蓬萊エリア】

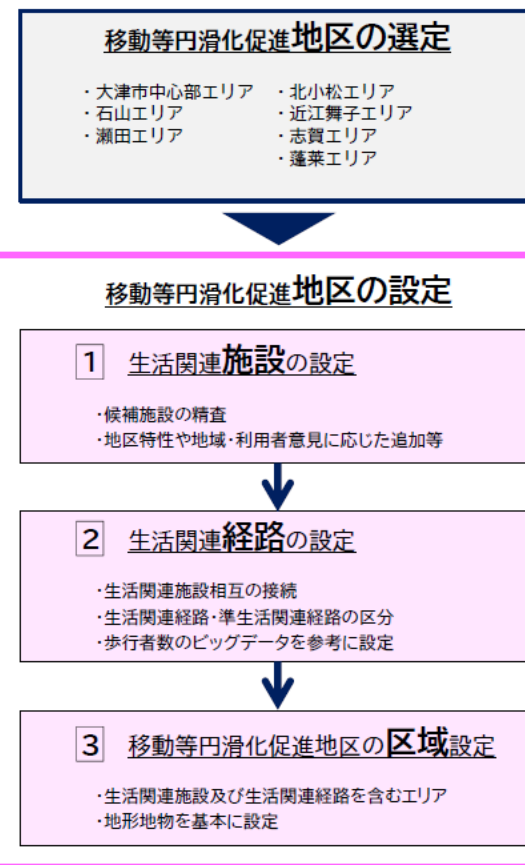
次期バリアフリー基本構想等の策定について

4 「移動等円滑化促進地区」の設定について

(1) ① 生活関連施設、② 生活関連経路、③ 区域の設定について



図：移動等円滑化促進地区のイメージ

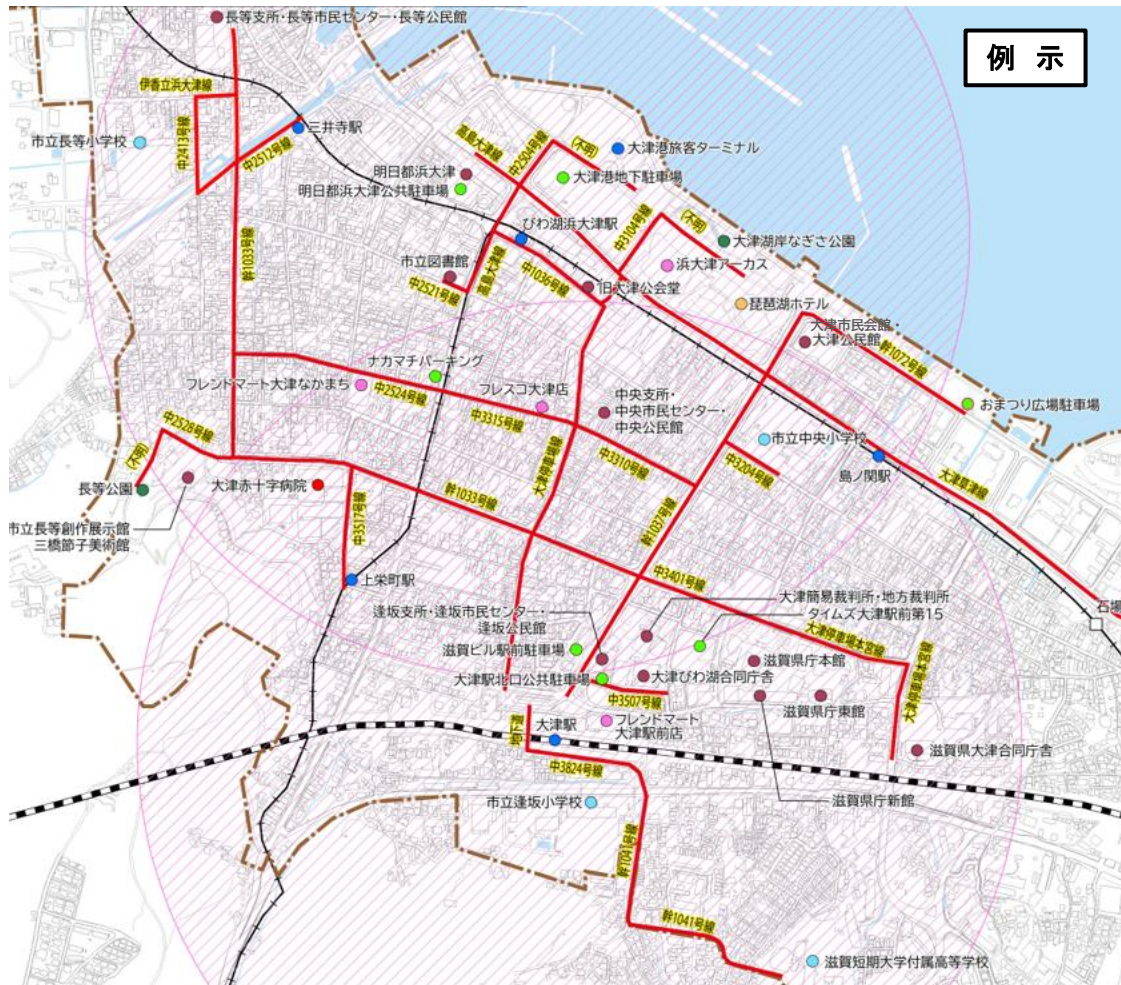


図：移動等円滑化促進地区の設定フロー

次期バリアフリー基本構想等の策定について

5 「移動等円滑化促進地区」の生活関連施設・生活関連経路・区域の例示

大津市中心部エリア(JR大津駅・京阪びわ湖浜大津駅周辺)



例示

■生活関連施設

分類	施設名
交通拠点	JR大津駅、京阪びわ湖浜大津駅、京阪島ノ関駅、京阪上栄町駅 京阪三井寺駅、大津港旅客ターミナル
建築物	公共施設 滋賀県大津合同庁舎、滋賀県庁新館、大津びわ湖合同庁舎 滋賀県庁本館、滋賀県庁東館、大津簡易裁判所・地方裁判所 逢坂支所・逢坂市民センター・逢坂公民館 中央支所・中央市民センター・中央公民館 長等支所・長等市民センター・長等公民館 大津市民会館・大津公民館、市立図書館、明日都浜大津、旧大津公会堂 市立長等創作展示館・三橋節子美術館
病院	大津赤十字病院
教育施設	市立逢坂小学校、市立中央小学校、市立長等小学校 滋賀短期大学付属高等学校
宿泊施設	琵琶湖ホテル
商業施設	フレンドマート大津駅前店、フレスコ大津店、 フレンドマート大津なかまち、浜大津アーカス
都市公園	大津湖岸なぎさ公園、長等公園
路外駐車場	大津駅北口公共駐車場、タイムズ大津駅前第15 ナカマチパーキング、滋賀ビル駅前駐車場 大津港地下駐車場、明日都浜大津公共駐車場 おまつり広場駐車場

(凡例)

- 交通拠点
- 公共施設
- 病院
- 教育施設
- 宿泊施設
- 商業施設
- 都市公園
- 路外駐車場

■生活関連経路

道路種別	路線名
県道	県道7号 大津停車場線 県道18号 大津草津線 県道47号 伊香立浜大津線 県道103号 大津停車場本宮線 県道558号 高島大津線
市道	幹1033号線、幹1037号線、幹1041号線、幹1072号線 中1036号線、中2413号線、中2504号線、中2512号線 中2521号線、中2524号線、中2528号線、中3104号線 中3204号線、中3310号線、中3315号線、中3401号線 中3507号線、中3517号線、中3824号線
その他	JR大津駅地下道
(不明)	(認定道路図に記載なし) ※大津港、なぎさ公園、長等公園

(凡例)

- 生活関連経路
- 駅から800m圏
- 移動等円滑化促進地区の区域設定

次期バリアフリー基本構想等の策定について

6 今後のスケジュール

	令和5年度									令和6年度											
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
協議会	● 第1回(7/26) ①現基本構想の事業進捗状況の報告 ②次期基本構想等の策定スケジュールの説明 など			● 第2回(11/8) ①次期基本構想等の策定の進め方 ②移動等円滑化促進地区候補の中心となる拠点(案)の抽出 など			● 第3回(2/9) ①移動等円滑化促進方針(案)の設定 ②移動等円滑化促進地区(案)の選定、生活関連施設、生活関連経路、区域(案)の設定 など														
市議会報告			● 9/19 施設常任委員会						● 3/14 施設常任委員会												
パブコメ																					

促進方針・基本構想の策定

今後のスケジュール (案)

- 令和6年 5月頃 第1回バリアフリー推進協議会
 - ・促進地区(案)の決定
 - ・重点整備地区(案)の選定に係る協議
- 8月頃 第2回バリアフリー推進協議会
 - ・促進方針(案)、基本構想(案)の確定
- 10月頃 パブリックコメントの実施(1か月間)
- 11月頃 第3回バリアフリー推進協議会
 - ・パブリックコメントの結果の報告
- 令和7年 2月頃 第4回バリアフリー推進協議会
 - ・最終案の確認
- 3月末 促進方針・基本構想の策定